

## 第3回災害対策委員会を開催しました！

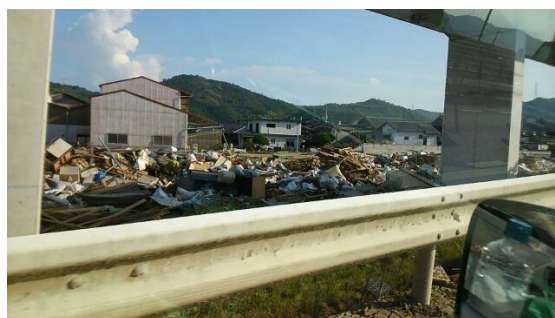
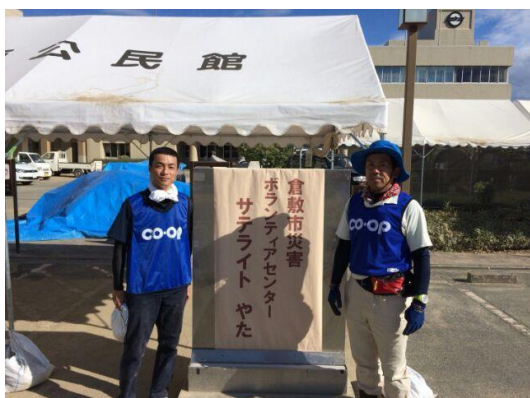
10月24日（水）、日本赤十字社千葉県支部において『日本赤十字社千葉県支部と千葉県連災害対策委員会との懇談会』を開催し、日本赤十字社救護福祉課、災害対策委員、事務局など16名の参加がありました。

今回の懇談会は、今年の大阪北部地震、西日本豪雨、台風21・24号、北海道胆振東部地震などの異常気象や自然災害の多発のもと被災地に赴き支援活動に携わった方の報告を聞きました。

日本赤十字社 救護福祉課 青木係長  
西日本豪雨災害地に調整班としていきました。  
日赤では、発災直後は医療救護活動から入り、  
その後被災者、救助者への心理的社会的支援  
（こころのケア）活動をします。

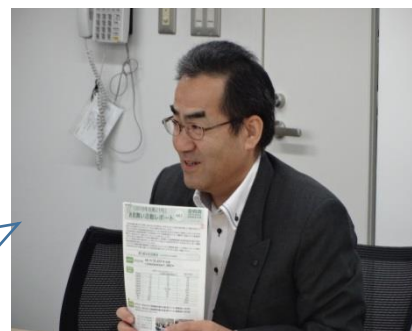


コープデリ連合会 西村課長  
岡山県倉敷市のボランティアセンターの  
サテライト運営支援活動に参加して資器材班として畳んだテント張りや資器材の用意などの活動をしました。



真備地区の車窓からの風景

全労済 千葉推進本部 布能次長  
台風 21・24 号で 11 万件以上の被災受付があり  
被災された組合員さん宅へ赴きお見舞い活動  
(損害調査活動) と自然災害への備えについて  
の重要性を呼びかけました。



パルシステム千葉 近藤課長  
西日本豪雨被災地域の岡山のサテライト  
箭田で資材班・マッチング班に参加し、  
実際に浸水被害にあった住居・施設を  
みて豪雨災害の恐ろしさとボランティア  
活動は作業のみの提供でなく、被災者の  
こころのケアも含まれることを学びまし  
た。



箭田サテライト (真備支所駐車場)



ボランティア資材洗浄及び返却

日本赤十字社青木係長の報告後、日赤の支援活動期間や支援時の宿泊先などの確保、ビブスなどについて質問があり丁寧に回答いただきました。また、それぞれの報告の後、地元の方との信頼関係づくり、災害協定の配送エリアなどについて活発な質疑懇談がおこなわれました。